



新屋小学校の取り組み 活動を積み重ねて

新屋小学校
校長 市川光早
児童 253人

「教育のひろば」とは
各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。
編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

一年

おうちで読書タイム、
いただきます



給食準備の仕組みを覚え、今では一人一人が役割を自覚して取り組んでいます。盛りつけも、手際よくできるようになりました。

明るい声で「さん、はっ！」



どの学習にも一生懸命取り組んでいます。特に音読になると皆張り切っています。明るくかわいらしい声が教室に響きます。

二年

ミニトマトのみができたよ

みの大きさは五ミリメートルくらいです。ミニトマトの木は四センチメートルくらいです。みの色は黄みどり色で、おいはトマトのおいんです。おうちでミニトマトができるようになります。



ミニトマトの様子の観察

さつまいものなえをうえたよ
はっぱはハートのカタチでざらざらしていました。色はむらさき色とみどり色です。くきの先のほうがむらさき色でふしぎでした。おいしいおいもができて、みんなでサツマイモパーティーをするのがたのしみです。

提言

社会に開かれた教育課程

新屋小学校
校長 市川光早



現在、学校は、新しい学習指導要領による教育の実施に向け、移行期を迎えています。小学校は令和二年度から、中学校は令和三年度から新しい学校教育が始まります。
新しい学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を実現することが求められています。難しい言葉であり、さまざまな意味を含みますが、地域の方に来ていただいたり、子どもたちが校外に出て学習したりする機会を増やす必要があることは確かです。
本校では、これまでも、朝の読み聞かせ、書き初め指導、

安全パトロール、米やタマネギ作り、探検学習など、さまざまな場面で地域の皆さまのご協力をいただけてきました。今後は、このような取り組みを一層充実させていく必要があります。そのため、学校は、地域や保護者の皆さま、社会教育施設などにこれまで以上の協力をお願いしていくこととなります。
学校においては、昔から変わらない特徴があります。すべて無償でお願いするということです。「タダ」でお願いします。外れているかもしれません。しかし、直接利益を生まない学校の教育活動には、潤沢な資金はありません。
「社会に開かれた教育課程」には、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という壮大な目標があります。その実現に向けて、身近な地域の皆さまに相変わらぬ無償でのお願いをすることが増えると思えます。どうぞ、ご理解とご協力によるしくお願い申し上げます。



野菜を育てています

三年

理科と社会の授業が
はじまりました



きれいな花が咲くといいな

私は、理科でひまわりを育てています。だんだん茎が長くなって葉が増えたりしています。きれいな花がさいてほしです。



泥の中は気持ちがいいな！

五年

新屋っ子で田植え体験

五年生は、総合の学習でお米作りをしています。地域の方々のお手伝いもあり五月上旬から「モミまき」を行い、稲が育つてから水絶やささないよう一生懸命で



学校の周りの地図

だったけど、地図記号があったから少し楽になりました。とても楽しかったです。

四年

タマネギ掘り



JAの人はタマネギを見つけるのが上手だね

た。六月に入り、いよいよ「田植え」です。天候の影響もあり、田んぼの端から手植えをしました。初めてする子も多く、貴重な体験となりました。次は「収穫」です。たくさん収穫できるよう、夏の田んぼの整備がんばります。

六年

力を合わせてプール清掃



きれいになったよ～！

五年生が小プール、六年生が大プールを掃除しました。デッキブラシやたわし、スポンジを使って床や壁をこすりました。バケツを使って水を運び、隅々まで流してきれいになりました。プールに入る日が楽しみです。